

大船渡湾内観測結果(No.11)

“今月の話題”

湾内の水温は6～7℃台であり、ほぼ例年並となっています。透明度は高く、二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルが低い時期となっています。

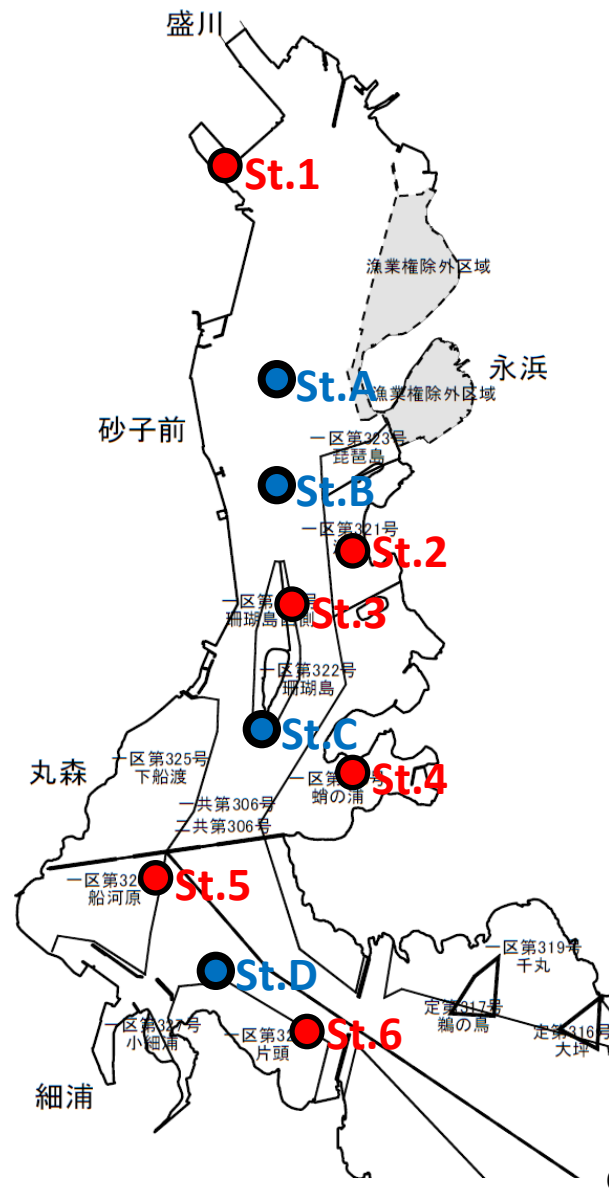
2月6日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は8.5～14.5mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、+1.0～+3.6mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが6.6～7.4℃、水深10mが6.9～7.5℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが-1.3～+0.3℃、水深10mが-0.7～-0.4℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成31年2月6日					
観測時刻		10:46	10:59	10:28	10:09	9:50	9:33
天候		曇					
気温(°C)		2.8					
風向		N					
風力		1					
水深(m)		8.9	24.6	27.4	19.6	25.6	37.9
透明度(m)		8.5	12.0	13.0	14.5	12.0	13.0
水色		5	5	5	5	5	5
水温(°C)	表層0m	7.2	6.8	6.5	6.7	6.7	6.8
	水深2.5m	7.4	7.3	6.6	7.3	6.8	6.8
	水深10m	-	7.5	7.5	7.4	6.9	6.9
	海底上1m	7.6	7.5	7.5	7.4	7.5	7.4
塩分	表層0m	32.7	32.8	32.2	33.3	32.0	33.4
	水深2.5m	33.5	33.5	33.2	33.4	33.2	33.4
	水深10m	-	33.7	33.7	33.7	33.5	33.5
	海底上1m	33.6	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	98.8	100.7	100.4	101.3	100.3	101.0
	水深2.5m	100.1	102.1	101.0	101.7	100.7	101.2
	水深10m	-	100.9	99.0	99.5	101.8	100.8
	海底上1m	99.8	98.1	97.8	98.8	98.8	99.1
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.7	0.5	0.5	0.4	2.2	0.6
	水深2.5m	1.0	1.1	0.7	0.7	0.7	0.6
	水深10m	-	1.8	1.2	1.1	0.7	1.0
	海底上1m	1.1	1.0	0.7	1.2	0.6	1.1



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

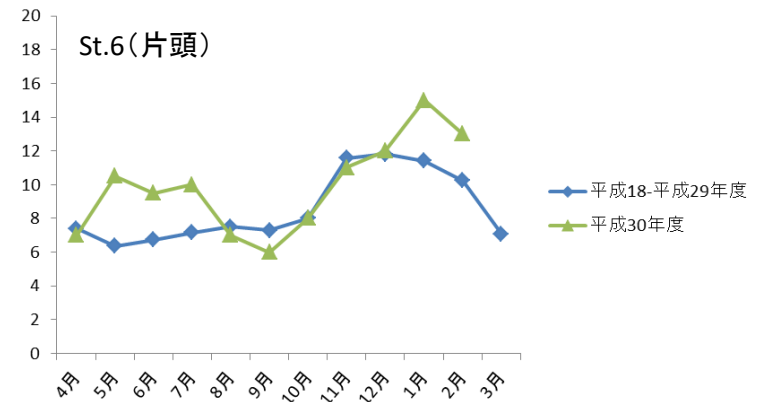
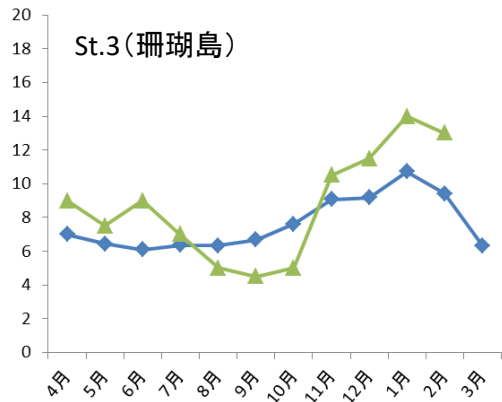
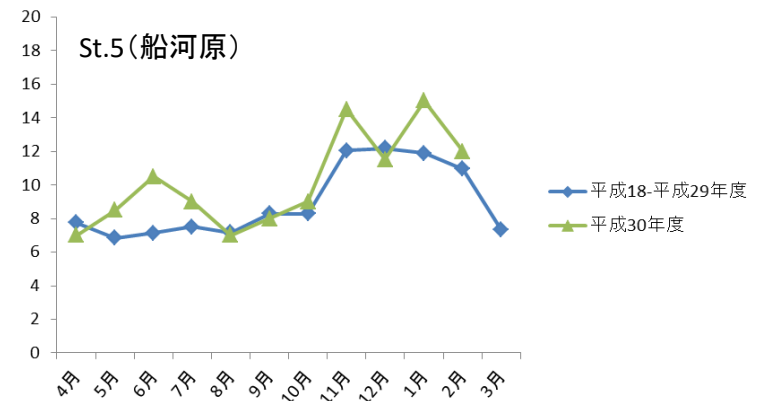
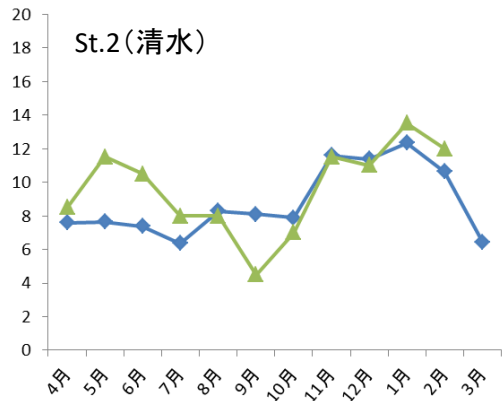
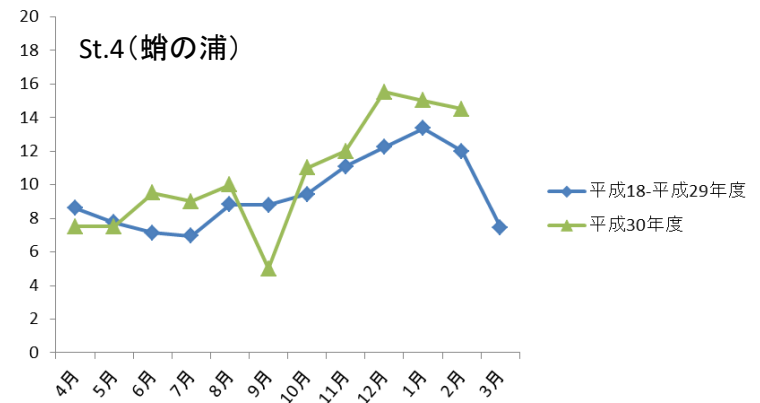
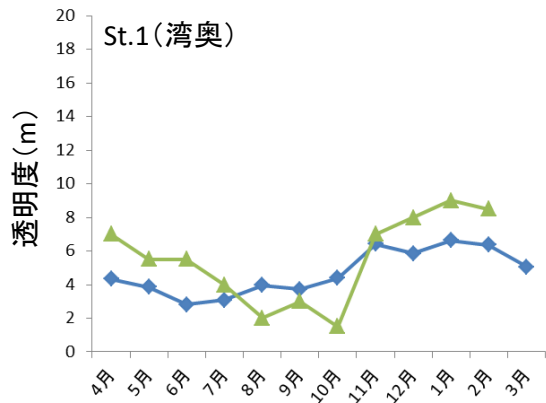


図2 透明度の推移

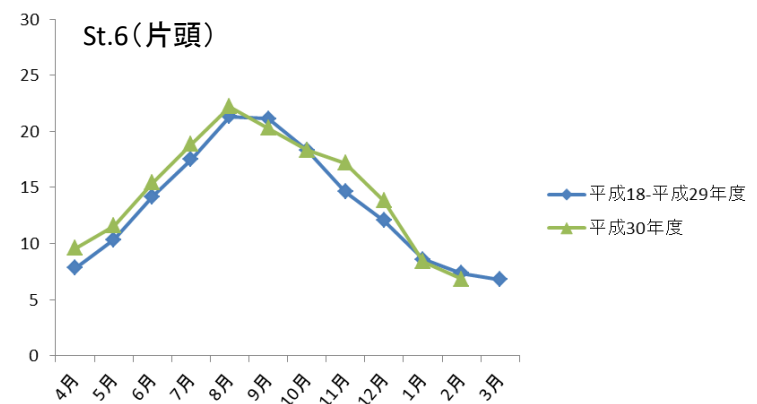
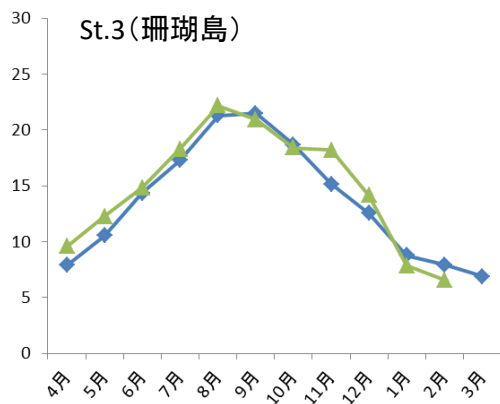
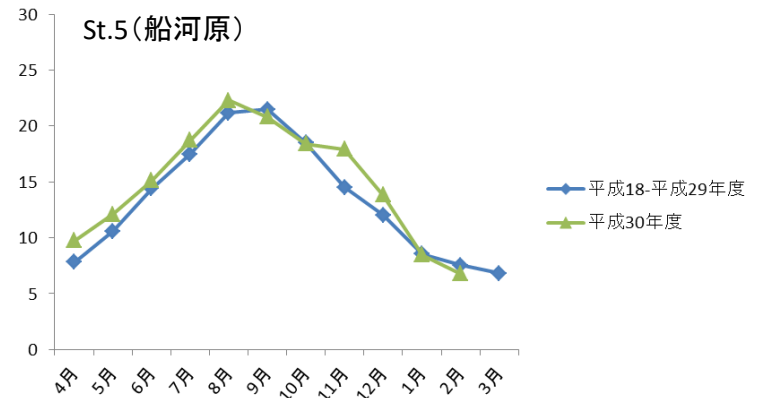
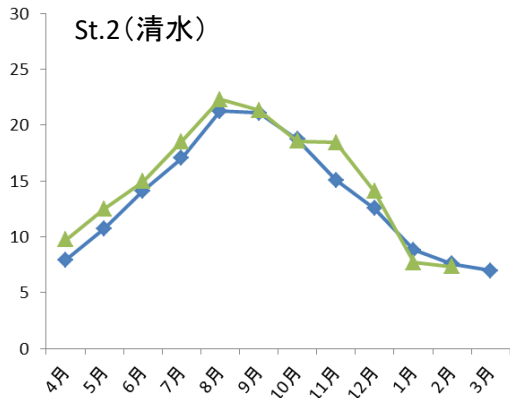
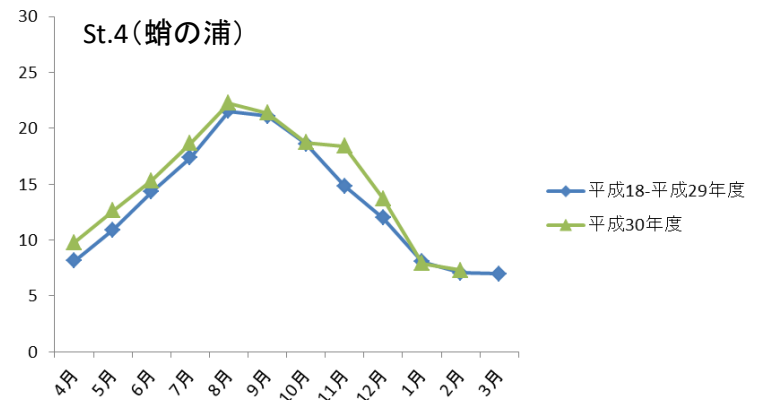
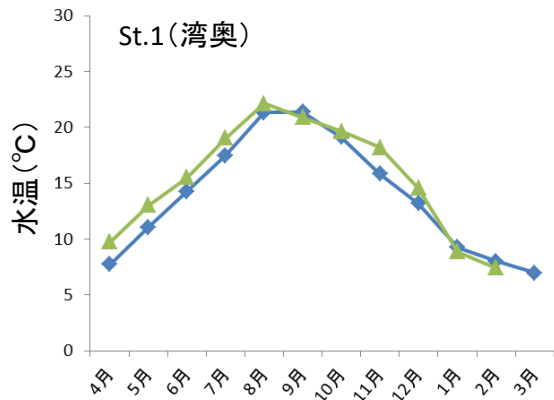


図3 水深2.5mの水温の推移

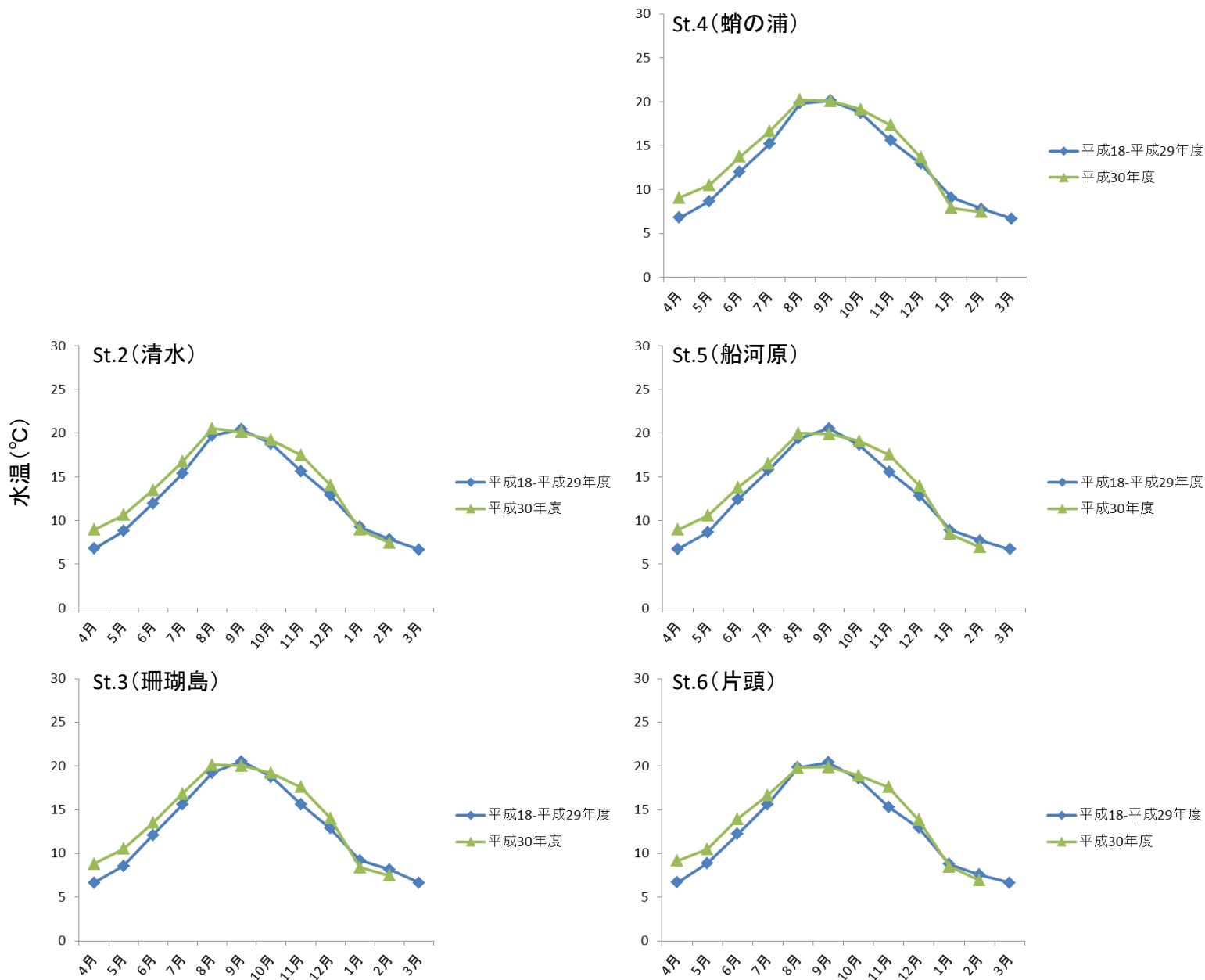


図4 水深10mの水温の推移

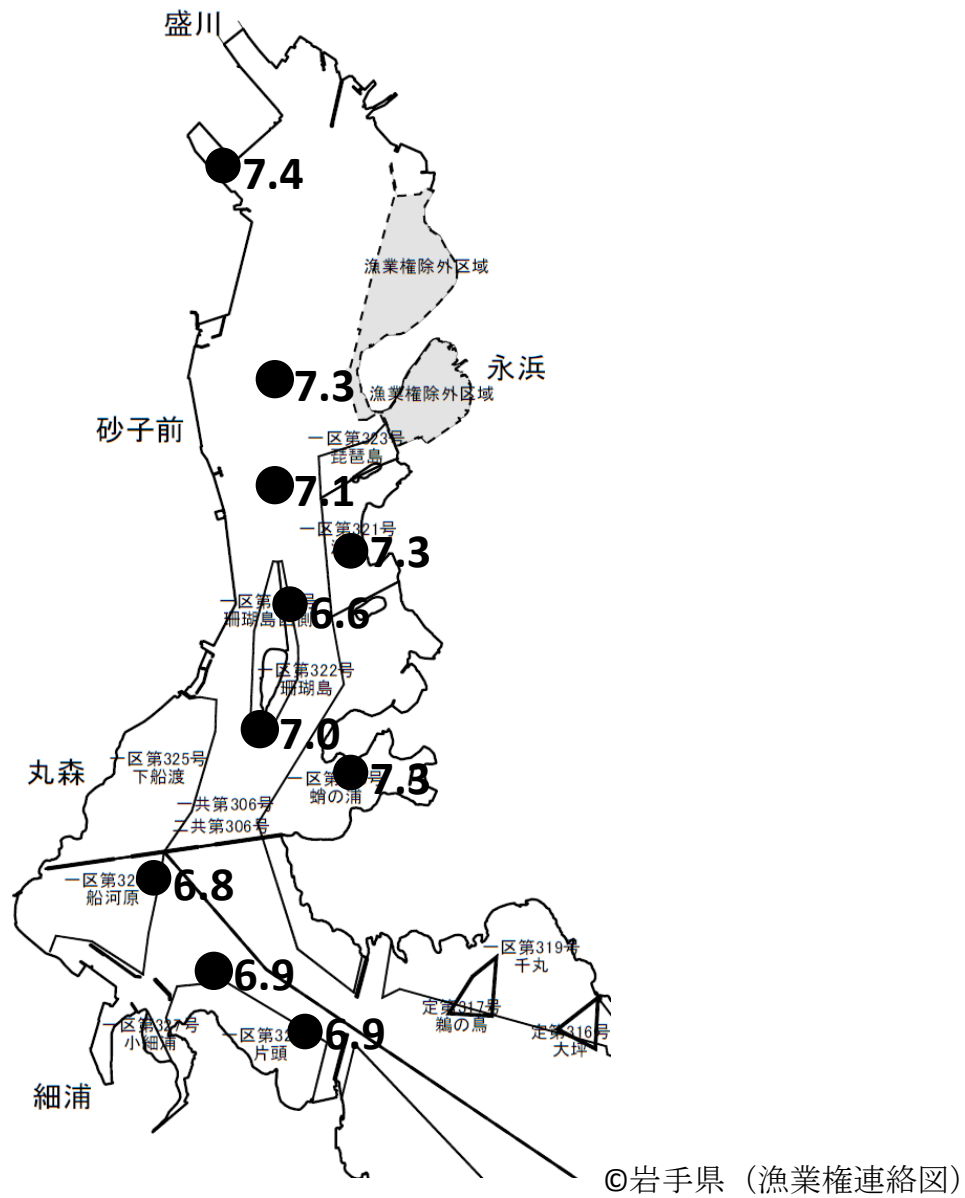


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

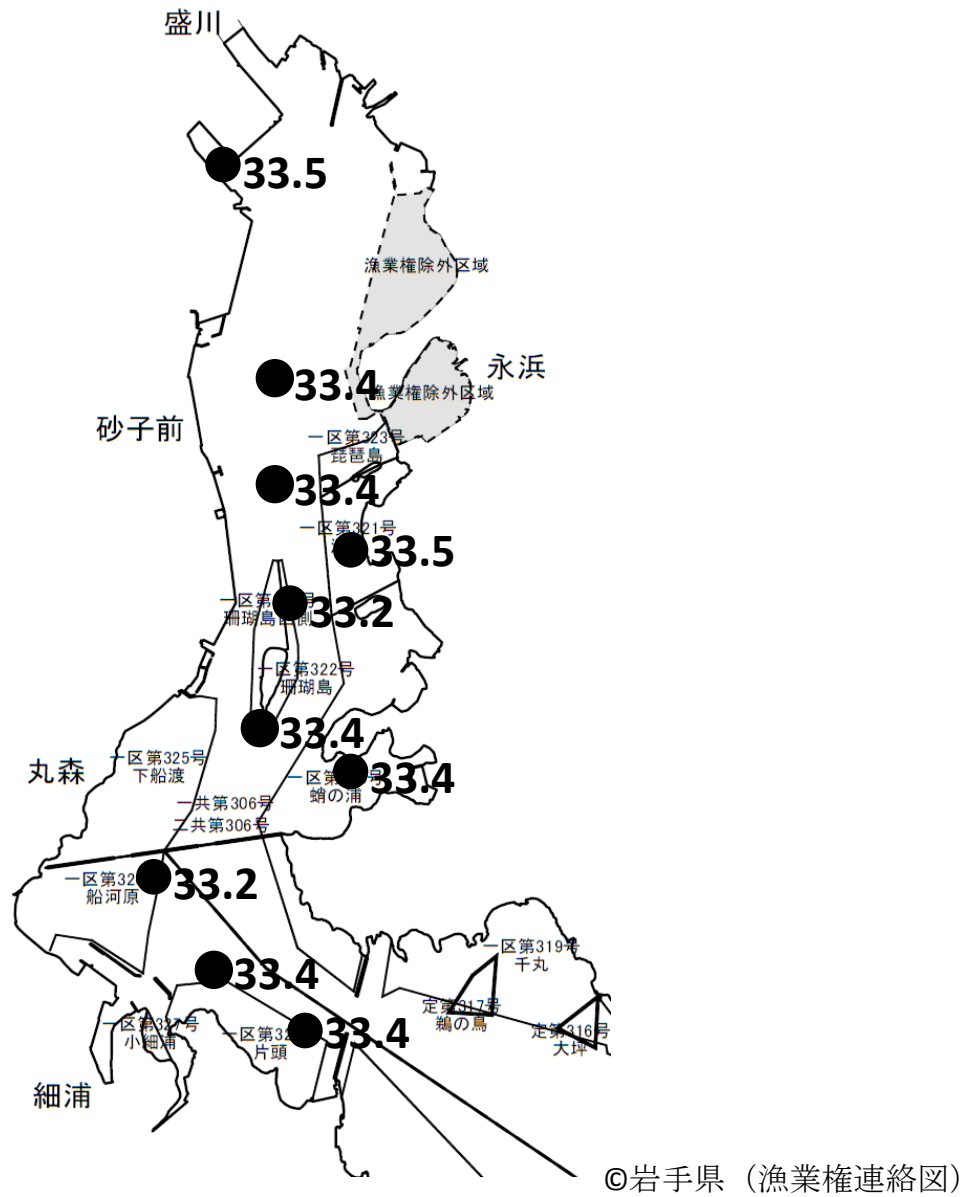


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

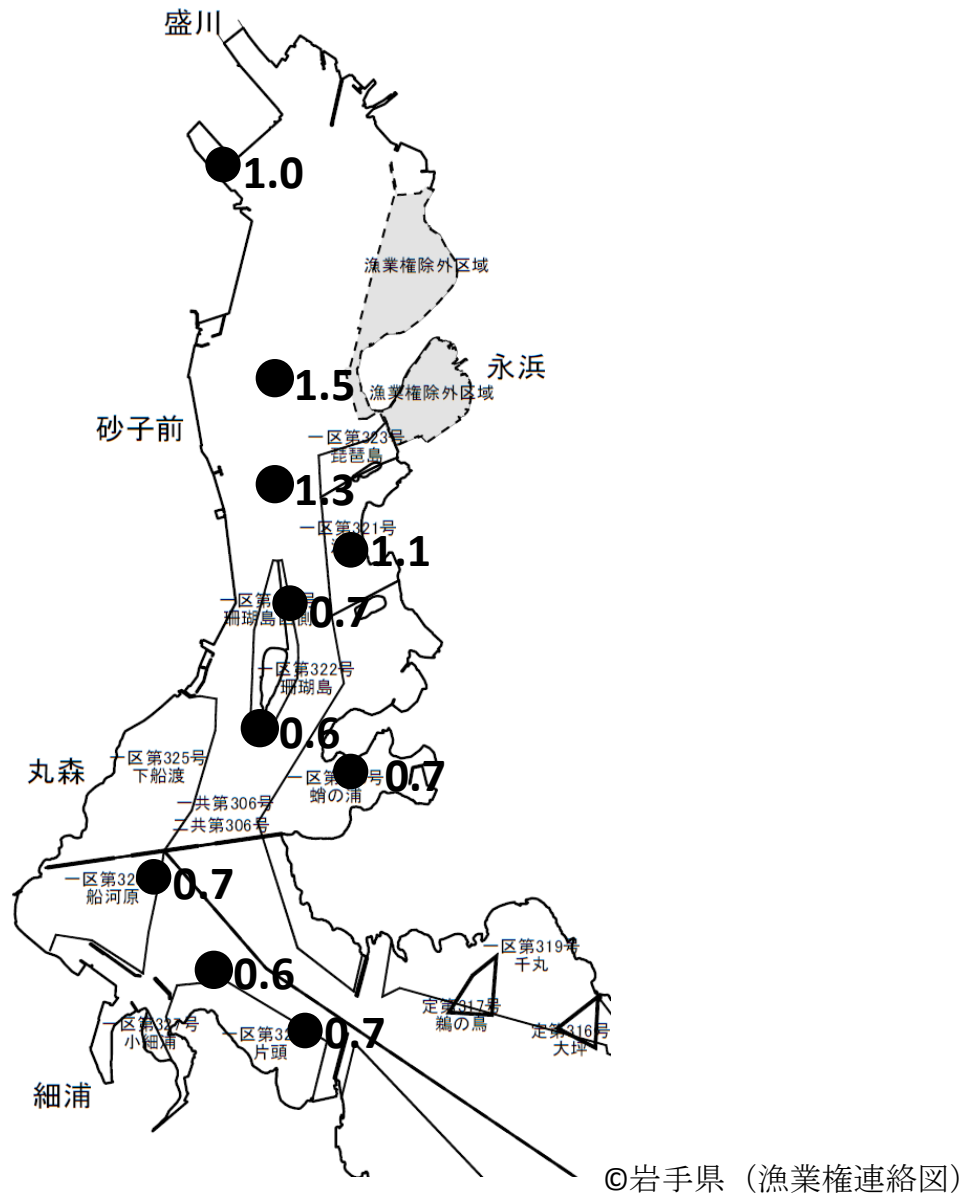


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。